

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。



さいたま市立

三室小学校



1 「自ら学び 心豊かに たくましく生きる 児童の育成」を学校教育目標に、『子どもたちが「思い描く幸せ」の実現を目指し、教職員、保護者、地域の Well-being を実現する学校』を推進しています。

2 豊かな自然環境を生かし、地域と共に歩む学校づくりを重視した教育活動を推進しています。



■所在地：さいたま市緑区三室 1 9 9 4 番地

■電話：048-874-1207

■FAX：048-810-1122

■交通：北浦和駅より国際興業バス、JA 埼玉三室前下車、徒歩 5 分

01 児童一人ひとりが主体的に参加、活動する教育活動の実践



(1) 「子どもを主語にした」教育活動の充実

子どもたちが自ら「？」を見付け、その解決に向けて主体的、協働的に取り組むことができるような「子どもを主語にした」教育活動を学校全体で推進しています。さまざまな問題を「自分ごと」として捉え、身につけた知識や技能を活用しながら心豊かに生活できる児童の育成に努めています。

(2) 学校・家庭・地域が一体となったあいさつ運動の実施

あいさつが増えることで、心のつながりが増え、安心・安全に過ごすことができるという考えから、児童会を中心に、あいさつ運動を行っています。また、「あいさつのあふれる三室地区」に向けて、地域や家庭と一体となって取組を進めています。

02 地元シェフとの連携や防災給食の提供による食育の実践



(1) 地元シェフによる学校給食の提供

地元で活躍されているシェフによる学校給食を提供しています。地場産業を活用した給食献立を提案し、学校における食育を推進しています。

(2) 防災給食の実施

さいたま市の災害備蓄米の提供を受け、給食室で炊き上げ、フードパックに入れて提供します。フードパックに入ったご飯を、付属の割りばしで食べる「防災給食」を実際に体験します。防災や非常時の備蓄品についても学んでいます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会は SDG s 教育を推進しています。



尾間木小学校教育ビジョン

「夢いっぱい、笑顔いっぱい、心のふるさと尾間木小学校」

～元気に挨拶、活動にメリハリ、落ち着いた雰囲気のある学校～

教育目標 「心豊かで たくましい 尾間木っ子の育成」

～認め合い・学び合い・共に育つ～

目指す学校像 「子どもが楽しく通える学校」

○規則と秩序のある歌声の響く学校

○共に学び合い、高め合う楽しい学校

○よく整えられ、安全で楽しい、潤いのある学校



■所在地：さいたま市緑区東浦和8丁目11番地5 ■電話：048-873-6000
■FAX：048-810-1121 ■交通：JR 武蔵野線東浦和駅徒歩15分

01 児童が主体的に身近な課題について解決策を見出すために



本校では、法教育の観点を取り入れ、自分たちの身近な課題について解決策を見出す学習を行います。

法教育とは、様々な立場に立ち、意見交換をし

ながら自分の力で結論（納得解）を見付けていく学習です。法教育の観点を取り入れた学習のねらいは「納得解を見付けるスキルを身に付ける」ことで、将来、自らの周りにある課題を解決し、住みやすい、住み続けたいまちにする力の育成をねらっています。

本校では、学校内外のトラブルを解決する手掛かりとして、教育的な視点だけでなく、法的な観点からの手立てを考えることができるようにすることや、学校や社会でのルールやマナーについて、友達とのかかわりや地域とのかかわりという視点で、その意味を児童自ら考えるとともに、お互いの納得解を探すためのスキルを身に付けることができるように学習を進めています。

具体的な手立てとして、「弁護士さんとの学習から議論の仕方を学ぶ」「弁護士さんと一緒に納得解の見付け方を学ぶ」という活動を進めていきます。4年生に、ゲストティーチャーとして現役弁護士の方々に授業参加していただいています。



弁護士の先生との学習

02 児童が探求的に身の回りの環境について考えるために

5年生の「総合的な学習の時間」では、全体では「環境・防災」を柱に「見直そう、私たちの生活 身の回りの環境 身の回りの安全」を共通のテーマとして示し、そこから個々が自分の課題を決めて探求的な学びを進めています。国語、社会、理科との関連も図り、自然災害について調べながら、防災の意識をもつことにつなげ、自分たちが暮らしている身の回りの環境について考えていけるようにしています。活動を進めていく中で「さいたま STEAMS 教育」の探求的な学習とも関連を図っていきます。

自分たちが解決したい問題点について、学習の進め方の例

○問題点の整理 ・どのような問題があるか、どうして問題が起こるのか、どうして問題なのか

○解決策（できるだけ具体的に 実現できること）

・どうしたら問題が解決できるのか、自分たちができること、自分たちの考え

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では、SDGs教育を推進しています。



さいたま市立

原山小学校



原山小学校
キャラクター
「はらっぴー」

＜校訓＞ 明るく 強く 正しく
＜学校教育目標＞ 心豊かな子 たくましい子 自ら学ぶ子
子どもたちが嬉々として登校し、充実感に満ちて家路につく学校
～あいさつと笑顔にあふれる学校～
－みんな友達 笑顔の原小（元気・やる気・勇氣）－



■所在地：さいたま市緑区原山1丁目30番12号

■電話：048-882-7907

■FAX：048-811-1332

■交通：JR 浦和駅東口徒歩 20 分

01 自分のいのちを守るために

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



本校では、安全指導を充実させています。長期休業日前には、交通指導員の方をお招きして、児童へ交通安全のお話をしています。また、生活委員会の活動でも、安全に関する呼びかけを行っています。ほかにも、通学班班長会議や一斉下校などを定期的の実施し、安全な登下校ができるように指導しています。

02 自分のからだをよりよくするために

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



本校では、歯科指導を充実させています。6年生には、浦和歯科医師会の指導を実施しています。顕微鏡を使ってブラークを見たり、歯の汚れの染め出しを行ったりしています。最終学年である6年生へ丁寧に指導することにより、生涯を通して歯を大切にしようとする意識を高めています。

03 関わり合いを豊かにするために

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



本校では、豊かなかかわり合いをはぐくむ指導を充実させています。令和3年度には、「主権者教育」の研究指定を受け、「自ら考え、協働的に学ぶ児童の育成」を主題に特別活動を中心に研究を進めてきました。令和4年度以降も、その理念は継続されており、学級全体で協力したり話し合ったりする学習が定着し、縦割り活動である「ふれあいタイム」でもその成果が表れてきました。

本校児童の他者と豊かに関わり合う力は、高まってきています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。

> **さいたま市立 大門小学校** > > > > > > >

学校スローガン 『笑顔いっぱい みんなに愛される大門小学校』
～学び 鍛え 夢を育む～

- 学びの連続性を生かした「真の学力」の育成
- グローバル社会で活躍できる豊かな人間性と健やかな体の育成
- スクール・コミュニティによる連携・協働の充実

- 1 開校154年を誇る歴史を生かした地域と協働したチャレンジ強歩の実施
- 2 豊かな自然環境を生かした栽培・飼育活動の充実



■ 所在地：さいたま市緑区大門 1 1 8 9 番地 ■ 電話：048-878-0024
■ FAX：048-812-1047 ■ 交通：JR 武蔵野線東川口駅北口徒歩 15 分

01 地域とともにある学校づくり

日光御成道チャレンジ強歩の実施



本校学区は、江戸時代より日光御成道の4つ目の宿場、『大門宿』として栄え、現在も街道沿いに大門宿本陣表門（埼玉県指定史跡）と脇本陣（市指定有形文化財）が残されています。大門小学校では、子どもたちが、自分が住んでいるこの地域に関心や誇りをもち、その歴史や地域のよさを知ることを通して地域を大切にする心を育てるため、「日光御成道チャレンジ強歩」の実施をしております。大門小学校から岩槻城址公園までの約1.4kmという距離を粘り強く歩くことを通して達成感を味わわせ、自信をもたせるとともに「やり抜く力」を培うことも目的としています。学校と家庭、地域が一つになって取り組むことで、家庭・地域との連携を深め、子どもたちの健全育成を推進していきます。また、歴史ある地域を生かした教材開発を行い、「総合的な学習の時間」において、地域を主軸に、横断的な学習を行っていきます。この取組を通じて、SDGsの目標11「住み続けられるまちづくり」、目標3「すべての人に健康と福祉を」に寄与していきたいと考えています。



02 緑豊かな学校の特色を生かす栽培・飼育活動の充実

豊かな自然環境を生かした継続的な学習



本校は、学校ファーム、「野鳥の森」等、自然豊かな環境に恵まれています。学校ファームでは、じゃがいも、さつまいも、米、大根等、季節の野菜を各学年が育てています。自身が育てた食材を収穫し、給食で調理してもらい、食べることで、残さずに食べようという心を育てることを目指しています。また、「野鳥の森」等ではキジをはじめとする多くの野鳥や、カブトムシ、カマキリ等の昆虫がたくさん生息しています。児童は飼育したい昆虫の環境を整えるために、住処やえさについて主体的に学び、考え、それぞれの生物にとって暮らしやすい環境をつくり、飼育をしています。このように、小学校生活6年間を通して、豊かな自然環境を生かした学習を通して、身近な地域の環境について考えることができます。これらの取組を通じて、SDGsの目標12「つくる責任つかう責任」、目標15「陸の豊かさを守ろう」に貢献していきたいと考えています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。



さいたま市立

野田小学校



- 1 「わくわくがあふれる学校」
○自ら ○ともに ○挑戦する
- 2 つないでいこう 豊かな自然と やさしい心
～みんなで作る わくわくがあふれる野田小学校～
- 3 小規模の特色を生かした、細やかで温かみのある教育活動

■所在地：さいたま市緑区大字上野田 1 6 番地 ■電話：048-878-0003

■FAX：048-812-1048 ■交通：JR 東浦和駅下車 野田小学校バス停下車徒歩 1 分

01 地域環境を生かした特色ある学校づくり



○学年ごとの栽培体験活動

1・2年生はさつまいも、3年生は落花生、4年生は里芋、5年生・6年生・全校児童は稲作を地域の農家の方の農地を借りして、植付けと収穫を中心とした栽培活動を行っています。農家の方には栽培についての指導やお手伝いをさせていただいています。児童は、活動前に作業の説明だけでなく、自然との関わりや農作業の実際などのお話を聞き、自然環境に恵まれた地域のよさについて考えを深めます。また、除草や収穫を手作業で行い、作物を育てる大変さを知ることで、食べ物を大切にしようとする気持ちを育てています。



02 児童が主体的に学び、生き生きと学校生活を送るために



①問題解決のために話し合い、表現する学習活動の充実

学校研究主題「『できた』『わかった』を実感できる児童の育成～基礎・基本の定着を目指す授業改善～」をめざし、児童自らが考え、深め合い、学びを構築する授業づくりを実践しています。課題に対してグループでの話し合いを積極的に行い、自分たちなりに答えを導き出す過程を重視し、互いの考えを認め合い多様な考え方があることを学んでいきます。児童が生き生きと学ぶ姿を大切にしています。



②一人ひとりが輝く人権教育の充実

・ナンバーワン宣言

児童と教職員全員が、一人ひとつ自分の「ナンバーワン」を決めて、毎月11日「いいねの日」に宣言します。みんなで「いいね！」と返し、考えを肯定的に受け止めてもらうことで自分らしさに気づき、相手を尊重する気持ちを育みます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。



学校キャラクター
うさりん



さいたま市立道祖土小学校

心豊かで たくましい さいどっ子の育成
～認め合い・学び合い・高め合う～

- 一人ひとりの教育的ニーズに応じた特別支援教育・インクルーシブ教育を推進する。
- 「特別の教科道徳」の授業実践の蓄積と、認め合い合意形成のできる学級集団を育むための、道祖土小特別活動スタンダード（話し合い活動・縦割り活動等）を実践する。
(本校の教育目標からSDGsと関連があるものを抜粋)

■所在地：さいたま市緑区道祖土1丁目1番1号 ■電話：048-885-2512
■FAX：048-811-1328 ■交通：JR 浦和駅から約2km 最寄バス停 浦和パークハイツ

01 望ましい食習慣を身に付けるための取組



【残食を減らす工夫を全校で統一して取り組む】

発達段階や個々の実態に応じた指導に配慮しながら、残食を減らし、食べ物を大切にする意識を高める取組を進めている。例えば、児童一人ひとりが無理なく食べられる量を教員が器によそい、食べ終わってからおかわりをするという流れを、学校全体で共通の手順として徹底している。

【食物アレルギーに対する配慮を通して助け合える人間関係をつくる】

代替給食など特別な配慮が必要な児童に対して、本校では最優先で配膳を行い、安全確保を徹底している。また、アレルギー対応児童については、「食物アレルギー対応ダブルチェック」を実施してから学級全体の喫食を開始するほか、使用する水飲み場を分けるなど、学校全体で統一した対応を行い、児童の理解促進にもつなげている。こうした取組を通して、互いに助け合い、支え合う人間関係の育成を図っている。



02 人権感覚を養い、差別をなくすための取組



【自他の生命を尊重し、安全に行動する】

生命の安全教育として、「プライベートゾーン」や「適切な距離感」についての指導を行っている。また、3年生では養護教諭がT2として授業に入り、「廊下でのけがの防止」について具体的な場面を通して学ばせている。さらに、5・6年生では毎年、学校公開日にゲストティーチャーを招いた授業を実施し、SNSやインターネット利用に伴うトラブルや、その対処法について理解を深めている。これらの学習を通して、学校全体でいじめや差別を許さない雰囲気づくりにつなげている。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。

> **さいたま市立** **中尾小学校** > > > > > > >

『知・徳・体の調和のとれた心豊かな人の育成』
学びいっぱい 優しさいっぱい 元気いっぱい

本校は令和8年度で創立48年を迎えました。自然豊かな地域の中で、体験的な学習を充実させながら、特色のある教育活動を推進しています。



■所在地：さいたま市緑区中尾 2596-1 ■電話：048-873-0216 ■FAX：048-810-1120
■交通：徒 歩：JR 武蔵野線東浦和駅 30 分
バス利用：浦和駅→国際興業バス乗車→大谷口県営住宅バス停下車 徒歩 5 分

01 豊かな自然を生かした教育活動の推進



本校では、敷地内にグリーンランドという緑地が広がり、その中には田畑もあります。5年生の総合的な学習の時間では、その田んぼを活用し、田植え・稲刈りなどの米作り体験を行っています。収穫の喜びや育てる苦労などを実感するとともに、日本や世界の米作りや食糧生産などについて、自らの課題をもち探究しています。

また、田んぼに水を引くための用水も校内に整備され、中尾川として児童に親しまれています。夏場は休み時間に中尾川で水遊びやザリガニ釣りをする児童も多く、学校生活の中で自然に親しもうとする気持ちを醸成しています。



02 自分の思いを表現し合える話し合い活動の充実



本校では、授業の中で話し合い活動を積極的に取り入れています。自分の思いを表現する際、「論理的に相手に伝える」ために大切なことを、低・中・高学年ごとに系統的に指導しています。今後は国語科の授業などを活用し、児童の語彙力を増やす活動を行ったり、話し合い活動が充実するような指導の時間を設けたりし、自分の思いをより豊かに表現できる児童の育成に取り組んでいきます。



03 基礎・基本の確実な定着を目指す授業実践



本校は令和2年度から令和4年度までの3年間、さいたま市より「読解力向上」の研究委嘱を受け、読解力というものの学習にも必要となる力を身に付けさせるとともに、特に算数科の基礎的な学力の向上を目指し、授業改善に取り組んできました。令和5年度からは、令和4年度までに積み上げてきた読解力を他教科に広げ、教科横断的な視点に立った資質・能力の育成に取り組んでいます。また、学年ごとに家庭学習で取り組む内容や取り組み方を示した家庭学習の手引きの作成などを行っています。今後は、教職員相互に授業を見合う授業研究などの実践を行いながら、児童の学力や教職員の授業力の向上を図ってまいります。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。



さいたま市立
大牧小学校



【学校教育目標】

～生き生きした 活力のある子～

知：よく考える子

徳：思いやりのある子

体：じょうぶな子

コミュニケーション：「わ」を大切にする子



■所在地：さいたま市緑区東浦和 6-12-3 ■電話：048-874-3456
■FAX：048-810-1124 ■交通：JR 武蔵野線東浦和駅徒歩10分

01 自分たちができることから始めてみよう！

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



◆児童会「SDGsプロジェクト」の実践

本校では、SDGs の関心を高めるため児童会の発信で「SDGsプロジェクト」に取り組んでいます。

毎年行われる「たっぴーカーニバル」では、SDGs を意識して、使う材料もできるだけリサイクルをして活用し、できるだけごみを出さないようにするなど、地球にやさしい活動にするために、自分のできることを考えて取り組んでいます。

02 緑豊かな学校の特色を生かす栽培活動・環境教育の充実

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



◆学校ファーム「たっぴー畑」

本校は、さいたま市の南東部に位置し、自然豊かな環境に恵まれています。学校から1km程の場所に大牧小学校ファーム「たっぴー畑」があり、なす、落花生、枝豆、大根等、季節の野菜を各学年が育てています。

このような畑と触れ合い、自身が育てた野菜を収穫し、給食で調理してもらい食べることを通して、残さず食べようという心を育てることを目指しています。

さらに、PTAの活動の一環として、学校花壇の植え替えや水やり、畑の草取り等、親子で畑の活動を行う機会も設けています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。



さいたま市立
芝原小学校

学校教育目標「明るくさわやかな子の育成」

めざす児童像

- ・ あいさつと感謝のできる子
- ・ 一所懸命取り組む子
- ・ 安全な行動、正しい判断ができる子

○「おもしろさ」を追求する学校

○家庭・地域と連携した「共育」の推進



■所在地：さいたま市緑区芝原2丁目5番地 ■電話：048-873-4133
■FAX：048-810-1123 ■交通：JR 武蔵野線 東浦和駅 徒歩3分

01 学校ファームにおける農業体験学習



本校では、学校ファームアドバイザーの方々の御協力により、複数年で野菜の植え付けや収穫の体験学習を行っている。子どもたちが日常では体験できない貴重な体験を通して、食べ物大切さや、生産者の苦労や農作物への思い、生産者への感謝の気持ちなどについて学習している。生産方法などについて学習することや生産者の生の声を聞くことで、毎日何気なく食べている野菜も、自分たちの食卓に並びまでには、生産者の数多くの苦労があることに気付くことができる。



02 収穫野菜の販売活動によるキャリア教育



学校ファームで収穫した野菜は、例年祝日に行われる地域のお祭りで希望した児童が販売を行っている。この販売に向けて、総合的な学習の時間（ふれあいタイム）の学習の中で野菜の袋詰め作業や出店の看板やポップづくり、販売する野菜と一緒に渡すおすすめレシピーの用意などを行い、販売業務を準備の段階から体験している。

令和6年度より、三室ふれあい祭りが復活し、児童自らが収穫や袋詰め、販売を体験することができた。一連の作業などを通して、生産のみではなく、販売をするためにも様々な苦労があることを実感できた。



また、これ以外にも学校ファームで収穫された野菜は、学校給食で食材として利用されている。子どもたちが美味しくいただくことで、「地産地消」の大変身近なモデルとなっている。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。



さいたま市立美園小学校



学校教育目標 笑顔かがやく きれいな学校

今年度の重点目標 「つなぐ、つなげる」

- 1 子どもたちの主体的・対話的で深い学びで学習が好きな授業改善
- 2 子どもたちが安心して相談できる人間関係づくり
- 3 子どもたちの地域社会への愛着を育む教育活動
- 4 子どもたちの豊かな心をはぐくむ、潤いのある教育環境整備
- 5 教職員が「働きがい」と「働きやすさ」を感じる職場環境整備

＜目指す児童像＞

よく学び《学んだことを生かすことができる子》 みんな仲良く《困っている人を助ける子》
よく遊び《みんなで工夫して活動する子》 認め、高め合う《互いのよさに気づき、励まし合える子》



■所在地：〒336-0967 埼玉県さいたま市緑区美園五丁目 33 番地

■電話：048-812-6611 ■FAX：048-878-6660 ■交通：浦和美園駅 徒歩 約 15 分

01 人権教育「みんなちがって みんないい」



美園小では毎年性的マイノリティや障害がある方、専門職の方など、様々なゲストティーチャーをお迎えし、児童を対象とした講演会を行っています。互いに尊重し合う望ましい人間関係を築こうとする意識や態度の育成を図ることを目的としております。



02 地域とともにある学校



「美園地区」は、2001年にまちびらきをした新しい地区であり、近年、急速に都市化が進み、年々人口が増加しています。その中で本校では、さいたま市のコミュニティスクールとして地域に根ざした学校づくりを行い「美園が好きで、美園のために行動する人」の育成を目指します。そのために、特に地域の人財や教育資源を効果的に活用しながら行う「美園学習」に力を入れています。また、児童の登下校時の安全を守るために、多くの地域の方々や保護者の方が防犯ボランティアとして参加し、子どもたちをいつもあたたかく見守ってくださっています。



【学校運営協議会】



【4年 福祉】



【5年 田植え】



【あいさつプロジェクト】

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。

> **さいたま市立 美園北小学校** > > > > > > >

学校教育目標

「笑顔あふれ 瞳かがやく子の育成 ～あふれる笑顔、かがやく瞳～」
これからの時代を生きる子どもたちに求められること

○ 自ら考え、行動できる自立・自律した個の確立

- ・ 変化する社会を生き抜くため、互いに人格を尊重しあいながら幸せに生きること
- ・ 社会で自らの役割と責任を果たし、生きがいをもって活躍できるようにすること
- ・ 課題を解決する力、多様な考えから新たな価値を創造する力



■所在地：さいたま市緑区美園2丁目12-11 ■電話：048-812-2277

■FAX：048-812-0808 ■交通：埼玉高速鉄道「浦和美園駅」より徒歩15分

01 パラリンピック「ボッチャ」チャレンジの実施



特別支援学級ひまわりの児童が運営を行い、ボッチャが様々な立場の人たちも生涯楽しめるスポーツ競技であることを周知し、通常学級の児童と一緒に大会をしながら交流を深めています。また、特別支援学級の児童の自尊心を養い、互いに認め合う関係性を築いています。



02 環境に配慮した安全なエネルギーが未来に続くように



環境への配慮として、校舎屋上の太陽光発電や雨水利用など自然エネルギーを取り入れています。

また、屋上緑化や校庭の芝生など二酸化炭素の排出を抑える取組も行っています。



03 地域の環境をテーマにした学習活動の研究



環境教育として以下のものを教育課程に位置付け、子どもたちには地域の環境を意識した生活が送れるよう、働きかけています。

- ・ 見沼地区の生き物について（4年生理科）
- ・ 校内で雨水利用をしていることについて（4年生社会）
- ・ 生活排水の浄化、測定、指導（6年生理科）
- ・ 二酸化炭素排出の削減について（6年生理科）
- ・ 牛乳パックリサイクルや古紙回収について（4年生社会）
- ・ 「これが私たちの町 美園」（3年生総合的な学習）
- ・ 「知ろう、学ぼう、わたしたちの自然と環境」（5年生総合的な学習）



など